

杉並区子ども・子育て支援事業計画における保育施設の 量の見込みとそれに対する確保量の見通し等について

I 計画数値と実績値との比較

表1

◎3号認定（0～2歳児）		28年度		29年度			
		①当初事業計画	②実績	③当初事業計画	④見直し	⑤当初計画との差分	
A. 人口推計	計	13,334人(※1)	13,194人	12,209人	13,813人	1,604人	
	内訳	3号認定（0歳）	4,712人(※1)	4,643人	4,093人	4,703人	610人
		3号認定（1・2歳）	8,622人(※1)	8,551人	8,116人	9,110人	994人
B. 量の見込み	計（ア）	5,082人(※1)	5,475人(※2)	5,225人	6,078人	853人	
	内訳	3号認定（0歳）	1,169人(※1)	1,212人(※2)	757人	1,317人	560人
		3号認定（1・2歳）	3,913人(※1)	4,263人(※2)	4,468人	4,761人	293人
C. 確保量	計（イ）	5,154人	4,586人	5,469人	5,613人	144人	
	内訳	認可保育所	3,393人	3,153人	3,708人	3,890人	182人
		地域型保育事業	224人	163人	224人	258人	34人
		その他(※3)	1,537人	1,270人	1,537人	1,465人	△72人
差引	（イ）－（ア）	72人	△889人	244人	△465人		

(※1) 人口推計及び量の見込みについては、平成27年度第2回子ども・子育て会議で評価した数値

(※2) 平成28年4月15日現在の速報値

(※3) 認可外保育施設：認証保育所、区保育室、グループ保育室、家庭福祉員、家庭福祉員グループ、定員調整

表2

◎2号認定（3～5歳児）		28年度		29年度			
		⑥当初事業計画	⑦実績	⑧当初事業計画	⑨見直し	⑩当初計画との差分	
D. 人口推計	3～5歳児計	11,617人(※4)	11,583人	11,729人	11,974人	245人	
E. 量の見込み	2号認定 （保育希望）（ウ）	4,611人(※4)	4,680人(※5)	5,238人	5,263人	25人	
F. 確保量	計（エ）	5,429人	5,132人	5,859人	6,211人	352人	
	内訳	認可保育所	4,706人	4,171人	5,136人	5,355人	219人
		その他(※6)	723人	961人	723人	856人	133人
差引	（エ）－（ウ）	818人	452人	621人	948人		

(※4) 人口推計及び量の見込みについては、平成27年度第2回子ども・子育て会議で評価した数値

(※5) 平成28年4月15日現在の速報値

(※6) 認可外保育施設：認証保育所、区保育室、区子供園、私立幼稚園の長時間預かり、定員調整

II 量の見込みと推計値

- 平成28年度
 - 3号認定（0～2歳）
 - 人口推計
実績値は、平成27年度第2回子ども・子育て会議で点検・評価した数値とほぼ同程度であった。
 - 量の見込み
人口推計は当初事業計画よりやや下回ったものの、保育を必要としている割合（保育需要率）が高まったことにより入所申込者数が増加、認定者数も大幅に増加した（認定者数実績。27年度4,514人⇒28年度5,475人（速報値））。
 - 2号認定（3～5歳）
 - 人口推計
実績値は、平成27年度第2回子ども・子育て会議で点検・評価した数値と比べ、若干下回った。
 - 量の見込み
実績値は、保育を必要としている割合（保育需率）が高まったことによる入所申込者数の増加に伴い、認定者数も増加した。そのため、平成27年度第2回子ども・子育て会議で点検・評価した数値に比べ、若干上回った。

- 平成29年度
 - 3号認定（0～2歳）
 - 人口推計
0歳児は、平成27年度の母子健康手帳交付数をもとに算定し、流入等も見込み当初事業計画を610人上方修正した。
1歳児及び2歳児は、実績をもとに994人上方修正した。
 - 量の見込み
人口、申込者数、認定者数等の推移をもとに算定し、0歳児について560人、1歳児及び2歳児は293人上方修正した。
特に0歳児については、当初事業計画時点と比較して、人口と保育需要の大幅増を見込み、大幅に上方修正とした。
 - 2号認定（3～5歳）
 - 人口推計
実績及び歳時進行等を基に算定し、245人上方修正した。
 - 量の見込み
いずれの年齢についても、人口、申込者数、認定者数等の推移をもとに算定し、当初事業計画を若干、上方修正を行った。

III 確保量と実績値

- 28年度
 - 3号認定（0～2歳）
認可保育所及び地域型保育事業のいずれについても、事業者自らが土地・建物を確保した上での新規開設の提案件数が予定より少なかったこともあり、28年度の当初事業計画ではそのも含め合計5,154名分確保する計画が、4,586人と、計画の9割弱にとどまった。加えて、上記の通り需要量が計画を上回ったため、見込み量に対する確保量は、889人のマイナスとなった。
なお、28年度の待機児童数は、区外の認可保育所やベビーホテル（区利用補助あり）利用者等を除いた136名（4月15日速報値）となる。
 - 2号認定（3～5歳）
認可保育所については、実績は当初事業計画の9割弱にとどまったが、その他については当初事業計画を上回り、全体で計画の約95%を確保した。
その結果、需要量に対して452人のプラスとなり、待機児童は発生しなかった。
- 29年度
 - 3号認定（0～2歳）
需要量の上方修正に合わせるとともに、最も保護者の希望が多い認可保育所を重点的に整備していくこととし、認可保育所について180名超、地域型保育事業について30名超の上方修正を行い、一方で「その他」については70名強の下方修正を行った。
 - 2号認定（3～5歳）
3～5歳児については、3歳児の需要増に対応するとともに、平成30年度以降の歳時進行に対応する必要があることから、当初事業計画より350名超の上方修正を行った。

IV 今後の対策

平成28年度については緊急対策として、見直し後の事業計画確保量を確実に整備するため、従来の持ち込み型の民間提案を促す手法だけでなく、区自らが区有施設等を提供し、事業者に整備・運営を委ねる手法を中心に取り組む。

ハード面の整備だけでなく、保育士の確保については、ハローワークと連携した就職相談会の開催、求人広告費の補助の新設などにより、事業者の支援を行う。

さらに、保育施設の量の拡大とともに、区内の公立・私立保育所による連絡会での研修、視察のほか、認証保育所、家庭福祉員なども含めた地域懇談会での情報交換・研修などの支援を行うことで、保育の質についても維持・向上を図る。